

# フクシマ・アスベスト・大気汚染を重点課題に 第43回公害総行動



第43回全国公害被害者総行動が6月6、7日おこなわれました。公害被害の切捨ては許さない！フクシマ・アスベスト・大気汚染を重点にミナマタ・基地公害などすべての公害被害者の救済と公害の根絶を求めるなどを訴えました。

6日はあいにくの雨の中「霞ヶ関昼デモ」で始まり、午後には環境大臣及び各省庁と交渉しました。中川環境大臣には冒頭に「国民署名」6万3千余筆を提出しました。続いて各公害被害者団体代表が大臣に被害者救済と「パリ協定」実行を迫りました。大気汚染については横浜のぜん息患者が被害を訴えました。夜はニッショウホールで「総決起集会」がおこなわれました。

7日は早朝宣伝行動～政府・経団連・電事連交渉～まとめ行動と続けました。6,7日を通じ、参加者はのべ2000名。要求実現まで粘り強くたたかう決意を固めました。

## 温暖化対策とエネルギー政策を焦点に政府・経団連・電事連交渉

患者会・連絡会は公害・地球懇／公害弁連と共に、気候変動を止める！原発・石炭から再エネへの転換！を求める交渉に代表参加しました。交渉の中心になった人は以下の通りです。

【内閣官房】長尾、早川弁、国師、清水

【環境省～原子力規制庁】橋本、吉野

【経済産業省】児玉、吉川

【文部科学省】昼間

【外務省】長谷川、河村、小林

【経団連】南雲弁、大島、鶴見弁

【電事連】中杉弁、石川

## 総決起集会に890名

総決起集会には全国各地から結集したすべての公害被害者団体代表が舞台上に勢揃いしました。

今年の進行は司会の堀田さん(川崎)と遠藤弁護士(ミナマタ)がインタビュー形式をとり、わかりやすく気合の入った決起集会となりました。

東京患者会の西川さんが大気汚染被害をしっかりと訴えました。

## フクシマ・ミナマタ現地調査に代表派遣

第4回「原発と人権」集会/第7回フクシマ現地調査(7月28～30日)に吉川代表委員、有明と水俣を結ぶ九州現地調査(8月24～26日)に土田常任理事の代表派遣を確認しました。